

## 第2章 教育研究組織

### 【現状説明】

平成11年9月、文部省に提出した設置申請書において、本学は設置の趣旨を次に示すように明確に宣言している。

『「人類の健康と福祉に貢献する」を理念として、健康、福祉、栄養及び情報の知識と技術を持って、人間中心型福祉社会の創造に貢献できる有能な人材を養成するとともに、生活基盤に立脚した健康と福祉に関わる情報を情報処理の手段でシステム化し、健康と福祉について社会科学的観点から考察し、さらに、食物・栄養がヒトの生理・生態的特質に及ぼす影響を考究することによって、総体的に捉えた「ヒューマンヘルス」の発展に寄与し得る教育研究機関を目指している』

その趣旨を具現化するために健康情報学科(平成16年度医療福祉情報学科に名称変更)、保健福祉学科及び健康栄養学科からなる健康福祉学部を開設した。各学科の教員の選任、採用に当たっては、文部科学省大学設置審議会の教員審査による判定と、同時に保健福祉学科及び健康栄養学科は厚生労働省所管の専門職養成施設としての性格を併せ持つため、厚生労働省の教員審査判定を基準とした。また、各学科とも教職課程をカリキュラムに組み入れていることから、教職カリキュラムを担当する教員についても文部科学省の判定を仰いでいることは言うまでもない。

本学は、平成17年度に完成年度を迎えたが、この間、一部教員の一身上の都合による退職という事態を余儀なくされたが、その都度大学設置審議会の教員審査を仰ぎながら欠員の補充に努めた。また、完成年度後においても教員に欠員が生じた場合には、本学教員の推薦者や公募に応じた候補者の中から、教育実績や研究実績を重視した書類選考と面接審査により本学教員として十分な資質を有する人材を採用して、教育研究活動に寸分の支障のないよう対処してきた。

本学の建学の理念をさらに広く具現化するために、健康、福祉に加えて医療分野の教育の充実をはかった。すなわち、チーム医療を支える分野における人材養成を目指して、平成18年度に短期大学部看護学科の改組によって看護学部看護学科を開設し、薬学部薬学科を新設した。両学部においても、それぞれ設置認可の申請とその審査の過程において健康福祉学設置と同様の審査を経て認可されており、それぞれの教員組織は看護学、薬学の教育研究活動や地域貢献を充分保証する体制となっている。

大学院健康福祉学研究科(博士前期・後期課程)は、健康福祉学部の教育研究活動の更なる高度化のために設置したものであり、本学の建学の理念を主体的、指導的に体現できる人材の養成を目指している。その教員組織は基本的には学部教員に土台を置いており、学部と大学院とが有機的に連続・連携した指導ができる教員組織であると認識している。

平成 20 年度時点における大学全体の組織概要図を図 1 に、研究教育組織図を図 2 にそれぞれ示す。また、表 1 に開学以来の大学組織の改革を時系列的に示す。

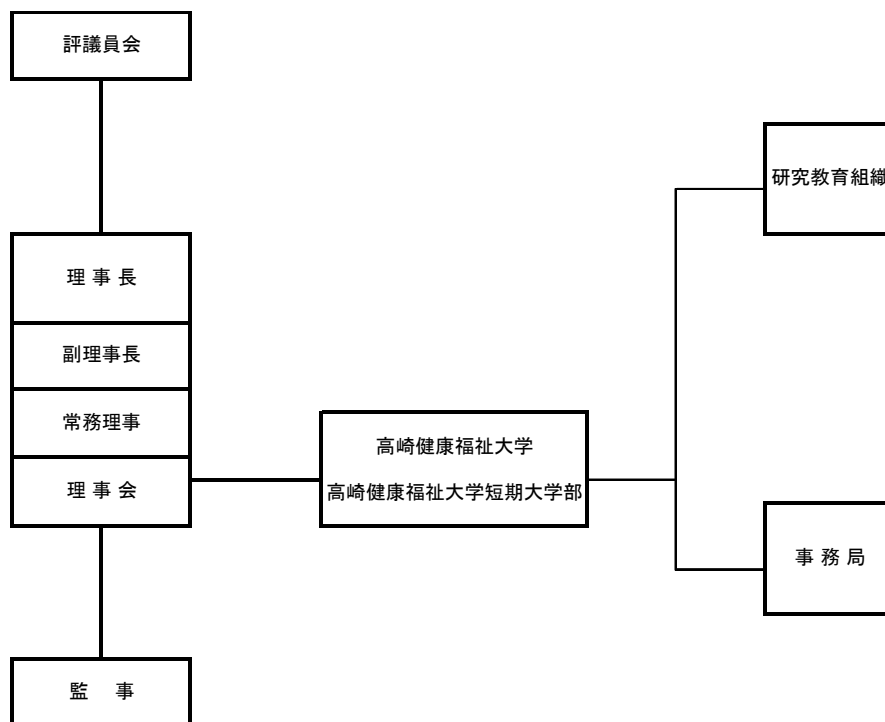


図1 大学全体の組織概要図

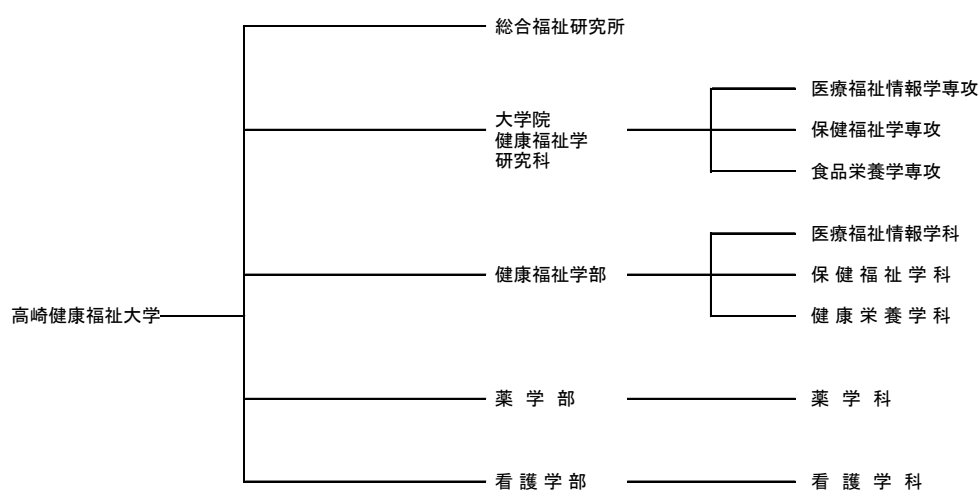


図2 研究教育組織図

表1 高崎健康福祉大学 開学以来の大学組織の改革

体制	開始年度	変更内容①	変更内容②	組織・定員									
開学	開学時体制Ⅰ	平成13年度～ (2001.4～2004.3)	カリキュラム変更 (健康栄養学科) (2002.4～2005.3)	健康福祉学部	250								
				健康情報学科	100								
				保健福祉学科	100								
				健康栄養学科	50								
	開学時体制Ⅱ	平成16年度～ (2004.4～2005.3)	学科名称変更	健康福祉学部	250								
			学科定員変更	医療福祉情報学 科	70								
				保健福祉学科	100								
				健康栄養学科	80								
	第1次改組体制	平成17年度～ (2005.4～2006.3)	各学科 カリキュラム変更	大学院 修士課程新設	健康福祉学部	250			大学院	健康福祉学研究科	10		
					医療福祉情報学 科	70			医療福祉情報学専 攻	修士課程	3		
					保健福祉学科	100			保健福祉学専攻	修士課程	3		
					健康栄養学科	80			食品栄養学専攻	修士課程	4		
	第2次改組体制	平成18年度～ (2006.4～2007.3)	薬学部薬学科 新設	看護学部看護学科 新設	健康福祉学部	250	薬学部	90	看護学部	80	大学院	健康福祉学研究科	10
					医療福祉情報学 科	70	薬学科	90	看護学科	80	医療福祉情報学専 攻	修士課程	3
					保健福祉学科	100					保健福祉学専攻	修士課程	3
					健康栄養学科	80					食品栄養学専攻	修士課程	4
現在	第3次改組体制	平成19年度～ (2007.4～2009.3)	大学院 課程を一部変更 (博士課程新設)	保健福祉学科 介護福祉コース新設	健康福祉学部	250	薬学部	90	看護学部	80	大学院	健康福祉学研究科	15
					医療福祉情報学 科	70	薬学科	90	看護学科	80	医療福祉情報学専 攻	修士課程	3
					保健福祉学科	100					保健福祉学専攻	博士前期課程	3
					健康栄養学科	80						博士後期課程	3
											食品栄養学専攻	博士前期課程	4
											博士後期課程	2	
	第4次改組体制	平成21年度～ (2009.4～2010.3)	学科名称変更	カリキュラム変更 (社会福祉学科・看護学 科)	健康福祉学部	250	薬学部	90	看護学部	80	大学院	健康福祉学研究科	15
					医療福祉情報学 科	70	薬学科	90	看護学科	80	医療福祉情報学専 攻	修士課程	3
					社会福祉学科	100					保健福祉学専攻	博士前期課程	3
					健康栄養学科	80						博士後期課程	3
											食品栄養学専攻	博士前期課程	4
											博士後期課程	2	
	第5次改組体制 (計画中)	平成22年度～ (2010.4～)	看護学部名称変更 理学療法学科新設	健康福祉学部 定員変更	健康福祉学部	190	薬学部	90	保健医療学部	140	大学院	健康福祉学研究科	15
					医療情報学科	50	薬学科	90	看護学科	80	医療福祉情報学専 攻	修士課程	3
					社会福祉学科	60			理学療法学科	60	保健福祉学専攻	博士前期課程	3
					健康栄養学科	80						博士後期課程	3
											食品栄養学専攻	博士前期課程	4
											博士後期課程	2	

※学部・学科・研究科・課程名右横の数字は入学定員

※附属研究機関等は除く

## 【点検・評価】

本学の建学の理念は、人間尊重と人間理解を基調として「人類の健康と福祉に奉仕する」と謳っている。「奉仕」とは「サービス」とは全く意味合いを異にしている。「奉仕」とは奉仕する主体が被奉仕者の喜びを我が喜びとして、それを活力として活動することであり、まさしく創立者須藤いま子が唱えた「利他自利」の精神である。この精神こそが本学の学生教育のバックボーンであり、本学の個性であり、「健大精神」の真髄である。

具体的には、本学は教育研究活動を通して人間生活の最も基盤となる健康・医療・福祉という領域で人々の幸福のために、よりよい社会の実現のために活躍できる高度な知識と技術を有し、人間性豊かで慈愛の精神の高い専門職の養成に責務を負っている。本学の教育研究組織は、その責務に十分に耐えうるものであると確信している。

### **【将来の改善に向けた方策】**

「健大精神」が現在の大学生活においても、またその後の人生を進める上においても、一つの精神的支柱となるよう、学長を始めとする教員組織が、建学の理念を「学生教育の中でどのように具体化しようとしているのか」について、検証することとしている。即ち、「教員が問題意識を共有しているか」、「問題解決のための議論の機会が設定されているか」、「理念に沿った指導方針が策定され、実施されているか」、などを学長の指導のもと今後も継続的に検証していく。